



沖縄ロゲイニングのレース中に走りながら撮影した 1 枚。あまりにも美しいビーチ。向こうに見える岬にあるコントロール目指して波打際を走る。

沖縄初のロゲイニング大会。
それは極楽を旅する 3 時間だ
った。

2010 年 2 月 21 日 沖縄県名護市
沖縄ロゲイニング 2010

「はじめてだけど面白い」

ロゲイニングを開催してみようとい
ういろんな団体の動きが、日本各地で
時々聞かれるようになってきている。
今回沖縄で初めてロゲイニングが開催
されることになった。

今回主催したのは日本ホールアース
研究所の「がじゅまる自然学校」。アド
ベンチャーレース好きのメンバーの発
案から手探りの中、今回の第一回が開
催された。

本州からやってきたコアなメンバー
だけではなく、地元・沖縄からも含め
て、あわせて数十名の参加を集めた。

まずは初回開催。「はじめてやってみ
たけど面白い」そんな声が会場からい
くつも聞こえた。まずは大成功。まだ
規模は小さいが、今回の成功をヒント
にして、より楽しいイベントが展開で
きることを期待したい。



気持ちいい亜熱帯の森「ヤンバル」。本州で
は見たこともない高さ 5m にもなるシダの
木が頭上の日差しを遮ってくれる。レース
では遊歩道が整備された快適なトレイルを
走る。

お・なかなかやるな

ロゲイニング開催は初めての主催者。
だが 10 分前に渡された地図は、かなり
練り込まれたコース設定になっていた。
事前に試走してコース検討したと聞い

ていたが、それを差し引いてもなかなか
うまいセッティングだ。満点は丁度
1000 点になる設定ひとつをみても、他
のレース設定を研究したあとがうかが
える。

「なかなかやるな。」これがコースを
見た時の第一印象。だが選手のパフォー
マンスをまだ低く見ている設定だっ
たこともコースを見て判る。

じゃコースプランナーの上を行こう。
作戦は決まった。いつの間にか本気モ
ードがスイッチオンになっていた。



最高得点だった標高 346m の名護岳山頂。
360 度海が見渡せる景色。その手前に名護
の街や原生林「ヤンバル」が広がる。
とても 2 月のレースとは思えないほど暖か
く、短パン、T シャツでのレース参戦。

酒に始まったレース

レースはダウンタウンの泡盛酒造所のコントロールから始まった。オリオンビールの工場を抜け、一旦海へ向かう。ディープな沖縄の香りがいっぱい。そこから徐々に高度を稼ぎながら名護岳へとむかってゆく。



沖縄では有名なオリオンビールの工場。ここもチェックポイント。ヤシの木が南国っぽい。オリエンビールではない。

亜熱帯の森からサンゴ礁へ

いよいよレースはヤンバル（沖縄原生林）の中に足を踏み入れた。見たこともない植物が頭上を覆って日差しが遮られる。それでも基本的には道路と整備された快適なトレイルを走る。

名護岳山頂ではほぼ制限時間の半分。そこからは市街地に向けて気持ち良くダイブしてゆく。その勢いで市街地を突っ走り、ビーチのコントロールを目指す。

山麓の名護城まで降りてくるとファミリー参加者と多く遭遇するようになる。ワイワイと話しながらも楽しんでいるようだ。お互いにエールを送り、写真を撮りあう。同じ競技をしているというだけで仲良くなれるのも嬉しい。



ヤンバルクイナが住んでいると言われる沖縄北部の原生林「ヤンバル」を抜けてゆくトンネル。ここが最遠方ポイントだ。



名護城跡を巡回していた大会運営者。ここは沖縄に多数ある聖域「ウタキ」のひとつでもある。

流れ弾に注意

前半部分での補給もうまくいった。足もよく動いている。水も充分にある。次第にスピードをあげるべく追い込んで走った。緑だった周囲が街に出て白くなってゆく。森を抜けビーチに出る。その先にはエメラルドグリーンのコントロールが待っていた。想像通りの沖縄の海が目の前に広がっていた。

レース終盤、ビーチにある名護球場の横を抜ける。プロ野球「日本ハムファイターズ」のオープン戦が行われていたようで大勢の人で賑わっていた。小さい球場らしく、ファウルボールがネットを直撃している。



2 番目の高得点ポイントはビーチにある堰堤の先端。目の前は名護球場がある。この日は日本ハムファイターズがオープン戦を行っていた。ダルビッシュ君はいたのだろうか。

笑顔のフィニッシュ

時間いっぱいギリギリまで攻めた。残り時間を計算してペースを速める。最後はビーチで手間取っている「Team 阿闍梨」の村越・田島組をキャッチアップすると、共同作戦でフィニッシュを目指した。

役員がやきもきして1分前のカウントダウンが始まったころダッシュでフィニッシュ。追い込んだ・燃え尽きた・満足した3時間が終わった。



5 人グループの参加者。コース途中でエールを贈り合う。これもログインならではの。



フィニッシュ後に振舞われたトン汁。ブツ切の豚足が骨ごと入っているところが沖縄ちっくで良い。



総合優勝の「Team 阿闍梨」村越・田島組。地元 TV の取材を受ける。この日はマスコミ数社が取材に訪れていた。



沖縄ロゲインの首謀者・角田（すみた）氏。来年も開催すると笑顔で宣言。今回の沖縄ロゲインは角田氏の発案と、周囲の協力で実現した。



ロゲイニング会場の名護小学校で見つけた衝撃の看板。自家用車送迎が多いらしい。



終わったあとは打上げ。もう一泊沖縄に残るオリエンティアたちと主催者で交流。レースの写真を見ながら、本日のコントロールにもなっていたオリオンビールで乾杯。沖縄の珍しいツマミを堪能した。沖縄は本州に比べて食べ物が安い。



激しいレースの後のアルコールは効く。利佳ちゃんも村越さんも木村もすっかりヘベレケになってしまった名護のダウンタウン。「あーこんなの撮影している」

沖縄ロゲイン 2010 上位結果

一般混合

- | | | |
|---|----------|-------|
| 1 | TEAM 阿蘭梨 | 897 点 |
| 2 | 斉藤家 | 621 点 |
| 3 | チーム入れ込み | 593 点 |

一般男性

- | | | |
|---|-----------|-------|
| 1 | 三重県 OL 協会 | 529 点 |
| 2 | んぬっ隊 | 320 点 |

一般女性

- | | | |
|---|------------|-------|
| 1 | ☆mojomajo☆ | 293 点 |
|---|------------|-------|

ファミリー

- | | | |
|---|------------|-------|
| 1 | TEAM Kouzu | 383 点 |
| 2 | チーム☆いれい | 346 点 |
| 3 | アダチ | 311 点 |

個人

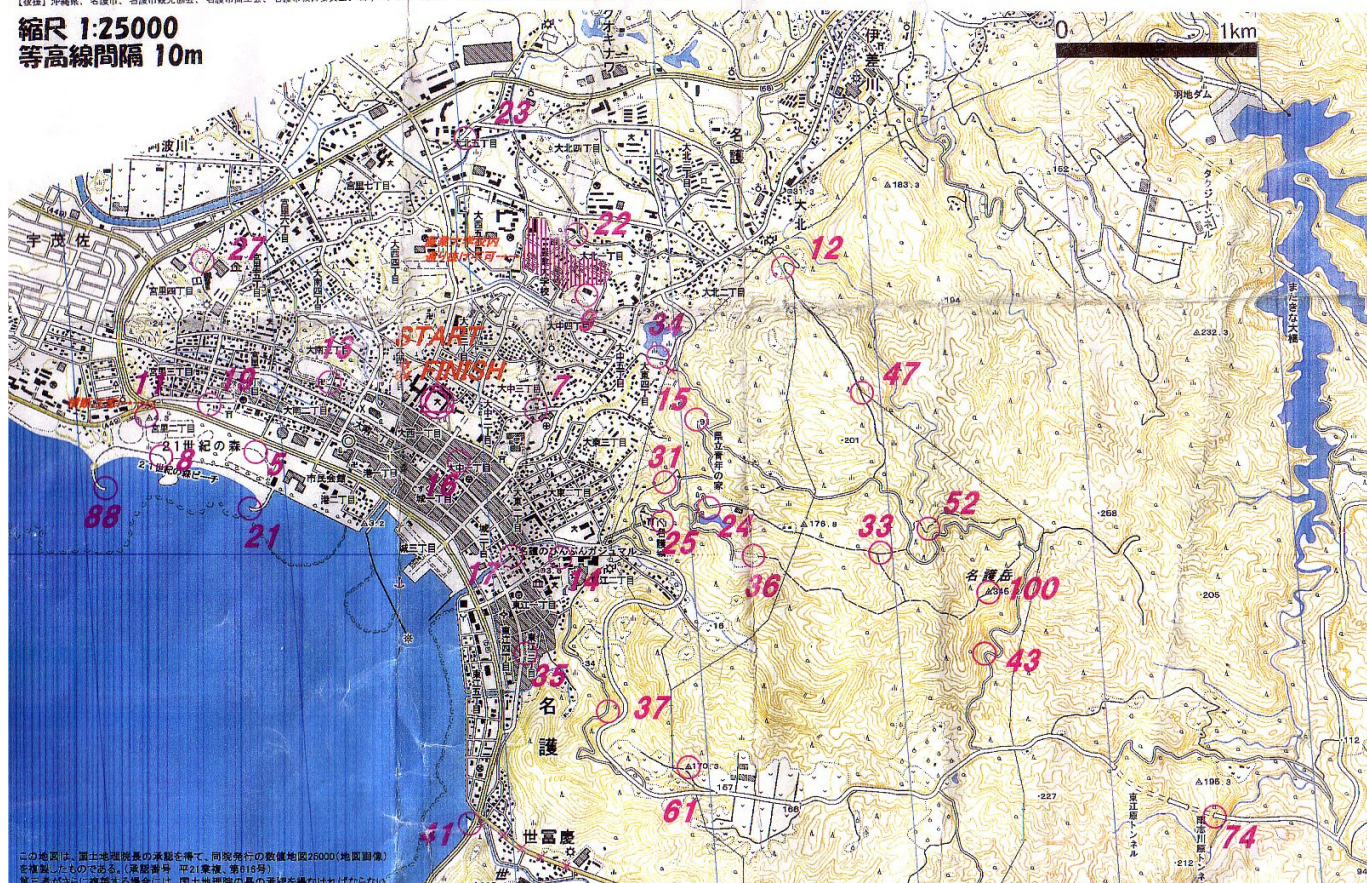
- | | | |
|---|------------------|-------|
| 1 | orienteering.com | 907 点 |
| 2 | チームインリン | 754 点 |
| 3 | OHITORI 様 | 502 点 |

山!海!街!すべてのフィールドが舞台 沖縄ロゲイニング2010

2010.2.21(Sun)

【主催】NPO 沖縄ホールアース研究所
【協賛】アウトドアショップ HEDOS、沖縄コカ・コーラボリリング株式会社、山と溪谷社、株式会社モンベル
【後援】沖縄県、名護市、名護市観光協会、名護市商工会、名護市教育委員会、日本ロゲイニング協会、日本オリエンテーリング協会 緊急連絡先: 090-7806-8287 (寺沢)

縮尺 1:25000
等高線間隔 10m



沖縄ロゲインの舞台となった名護市。名護岳、サンゴ礁、ヤンバル原生林、ビール工場。すべてがこの1枚に入っています。

沖縄自主トレキャンプ

沖縄ロゲイニング後も現地に残った木村は、沖縄キャンプと称してトレーニング。走って観光しただけでも言う。



2月22日(月)
今話題の辺野古。田舎の珊瑚礁だが、沖縄にとってこのような東方の岬は聖なる場所。飲み過ぎでおでこを冷やしている村越氏。レース翌日はさすがに走れない。朝 2km 走っただけ。



どうやって注意すんの？
何をどうしろというのか？
高速道路横に掲げられた看板。



2月22日(月)
沖縄神話の最高聖地「久高島」のさらに先端の浜「カペル」まで往復 7km ウォーキング。沖縄の始祖は最初にここに上陸したという。村越氏から「聖地オタク」との称号をいただいた。



2月23日(火)
ロゲインの筋肉痛が最高潮。自主トレはあきらめてホエールウォッチングに出かける。沖縄西部の海はクジラの聖地。1月から3月はクジラが集団で回遊している。



2月23日(火)
筋肉痛のなか首里城を見学。首里もまた聖地であった。琉球国王の王冠は、頭を釘が打ち抜いたようなデザイン。



2月24日(水)
足が復活してきた。この日は沖縄東部の島に向かって走る。トランスオーシャンハイウェイ(海中道路)に沿って 31km。



たどり着いた岬にあったのは、やはり沖縄神話の聖地。青い海、ランニング、そして聖地巡礼。聖地オタクには堪らない。初夏の陽気にサンゴ礁のエメラルドグリーンが美しい。これでまだ2月？



晴天で熱中症になりそうとき現れた「塩」の看板。迷わず入って「今食べられる塩ありますか」・・・観光製塩所の受付嬢もこんな客は初めてだったろう。



2月25日
糸満→喜屋武岬→ひめゆりの塔→玉泉洞。
ランニングで 37km。走れるのか？
「Yes, We 喜屋武(キャン)」!
ここは太平洋戦争の沖縄戦で日本軍が陥落した場所。
このあとに寄った「ひめゆりの塔」は卒業旅行の女子大生が大勢。沖縄戦の映像や展示を見るときは、みんな目がマジだった。自分と同じような女学生が辿った悲劇に感情移入しているようだ。



2月25日
現在の聖地「摩文仁の丘 平和祈念公園」ヒロシマ生まれの木村としては必ず訪れた場所だった。



恐れ入りますが、あと1万年以上お待ち下さい

待てません！(玉泉洞)



2月26日 那覇市内 13km
市内の世界遺産を走って巡る。あーよく走ったぞ。

(木村佳司)